

能登復興ビジョンのラウンドテーブル

「能登の復興ビジョン」および「復興プラン実現方法」について、能登の将来を担う4名の復興イニシアティブにお集まりいただき、ラウンドテーブル形式で議論をいたしました

Q1: 私の復興コンセプト

とんがりきる

自分にしかできないことに最大限取り組み、なにがしたいか発信することを大切にする。夢を追うことができる仕組みが大事

Q2: 実装フェーズに必要なことは?

オープンプラットフォームで、シェアすることが大事

オープンにシェアすることでよいサービスが実装され、周りを巻き込んでいくことができる

能登町
干場健太郎

輪島市
山本亮

Q1: 私の復興コンセプト

スロー、スモール、ソーシャルの3つのS

能登のじっくり手間をかけるペースを大切に、小さくても開かれていて社会的意義を持つことを大事にしたい

Q2: 実装フェーズに必要なことは?

スモールスタートで実績をつくり、賛同してくれる人とつながる。楽しみながらやる

プロセスの中で活動に賛同してくれる仲間を増やしていくことが大事。自分たちも楽しみながらやるということが大切

Q1: 私の復興コンセプト

発酵的復興、United Zaisho of Noto

発酵には菌(新しい人や情報)が大切だが、腐敗と発酵は紙一重。腐敗するのではなく、長い時間をかけて発酵する復興を目指したい

Q2: 実装フェーズに必要なことは?

人的リソースの確保

復興プロジェクトを起点に、能登に関わる人を増やしていきたい

七尾市
森山奈美

珠洲市
足袋拔豪

Q1: 私の復興コンセプト

自立しやすい社会

個人、環境両面で自立できる社会を目指したい

Q2: 実装フェーズに必要なことは?

7代先を考えて決める

足元のことも大事だが、1人1人が長い目で創造的に町や社会のことを考えることが必要

Q3: 復興への参加/不参加/無関心と、それに伴う市民の分断に対して、どうすべきと考えていますか?

- 愛が大事。つらいことを抱えながらも思い合う気持ちを忘れずにいること
- 力みすぎず、焦りすぎず、長く時間がかかることであると覚悟を決める必要がある、そのうえで休みつつ続けていく
- 個々の復興活動に向き合いつつ、定期的に思いを話す時間が大切

パネリスト & モデレーター紹介

パネリスト



干場健太郎

株式会社ふくべ鍛冶 代表取締役
包丁研ぎ・宅配サービス、ポチスバを運営している
6/27から伝統産業活性化プロジェクト リペアクラウドを開始



修理から始まる伝統産業活性化プロジェクト | リペアクラウド
応援はこちらから！



森山奈美

株式会社御祓川 代表取締役
“能登が能登らしく復興するために”をコンセプトに、能登復興ネットワークいやさかを設立

公式LINEにてボランティア募集情報を発信中！



山本亮

株式会社百笑の暮らし 代表取締役
“たべる・くつろぐ・ほっとする”をテーマに、里山まるごとホテルを運営している
能登復耕ラボにて、解体される民家の古材を救出し再利用を目指す古材レスキュー事業、
三井地区の里山資源を活かす森づくり事業を本格的にスタート



のと復耕ラボ
ボランティア情報はこちらから！



足袋拔豪

“農業と共に地域を熱くする”農業生産法人ベジュール合同会社 代表
馬と人と社会のコミュニケーションによる社会課題解決をめざす、みんなの馬株式会社 代表取締役

みんなの馬の活動詳細はこちら！



モデレーター



岩城慶太郎

珠洲市在住。
“能登を、能登らしい能登にするために”をコンセプトに、一般社団法人能登乃國百年之計を設立。
副理事長に就任。



能登乃國百年之計
未来の能登への想い、復興ビジョンをご投稿ください！